



野外活動

カーリングボウリング

対象	時期	人数	所要時間	活動場所	費用	指導員	関連動画
幼児～	1月～2月	20人	1.5～2時間	三角塔広場	— ※日帰り料金あり	—	—

概要

「氷上ボウリング」は、氷上でおこなうボウリングです。難しいテクニックはいりません。初心者でも楽しむことができます。本物のカーリング用のストーンと、ボウリング用のピンを使用します。

準備物

団体で用意するもの

- ・防寒着

自然の家で貸し出すもの

- ・ストーン
- ・ヘルメット
- ・ピン
- ・無線機

活動例

- (1) 事務室に声をかけ、職員が同伴して三角塔広場に移動する。
- (2) 三角塔広場倉庫から物品を借りる。
- (3) 競技を開始する。
- (4) 無線で事務室に終了の連絡をし、職員立ち合いのうえ物品を返却する。

ボウリング①

- ・ 1レーン2～4人（状況によりそれ以上でも可）
- ・ 10本のピンをカーリングストーン（または白い円柱形の漬け物石）を滑らせて倒す。
- ・ 通常のボウリングのようにスベアやストライクの加点はせず、実際に倒した本数の合計のみで勝敗や順位を決める。（1投目で6本倒れて4本残ったら、1フレは6本計上。残った4本をスベアとして2投目にせず、倒れた6本を元に戻して、次の人の1投目とする。）
- ・ 10フレまで行わなくても、状況により5フレなど短くしてよい。



ボウリング②

- ・ 一人連続して2投する。1投目はボウリングのピンに当てず、手前に止めるようにする。
（1投目が直接ピンに当たったら、その時点で2投目ができず、1フレは0本となる。）
- ・ 2投目は、1投目のストーンに当てて、はじかれた1投目のストーンでピンを倒す。倒したピンの本数が1フレの本数として計上する。
（2投目が1投目のストーンに当たらず、直接ピンを倒した場合は、1フレは0本となる。）
（2投目が1投目のストーンに当たり、さらに2投目のストーンがピンを倒した場合は、その本数も加えて計上できる。）
- ・ 以下、ルールや点数は、上記のボウリング①に同じ。

留意事項

- ・ 必ずヘルメットをかぶってください。また、氷上では絶対に走らないでください。
- ・ ボウリングのピンの向こう側・横に人は立たないでください。（はじかれたピンが飛散することがあります）
- ・ カーリングストーンをスタート位置に戻すときは、ゆっくり滑らせて戻してください。
- ・ 終了したら道具は自分たちで元の場所に戻し、氷上をほうきではいてきれいにしてください。